



こだち News



目次

平成30年度
事業計画 2

平成29年度
臨床心理サー
ビス事業報告 3

掲示板 4

巻頭言

時間は取り戻せないか

立命館大学総合心理学部 教授
森岡 正芳

他人事でなく自分が歳をとったという感覚は、さみしさと妙な安らぎ、いや、もうちょいやれるという奮起と焦りなども交錯する複雑なものである。何を焦っているのかと告白すると、45年も前になる学生時代にその気になればもっと勉強できたはずのこと、その重要さが今頃になってわかってきて、わが身の蒙昧さに忸怩たるものを感じるこの頃なのだ。

もっとも、これは自伝的記憶の研究でよく分かってきたレミニセンス・バンプという現象かもしれない。人生の何歳代の頃が思い出される頻度が高いかを高齢者に尋ねる。それに対して、10歳から30歳の出来事の想起量が多いことが示されている。いいかえると40年以上も前のことが、記憶に出てきやすいのはやはり老いたということだろう。

ミヒヤエル・エンデの『モモ』に出てくる時間どろぼうのことはご存じだろう。モモの住む街に突如あらわれ強力なセールスを始める。手口は巧妙である。人の一生の残りの時間を計算し、秒であらわす。人が70歳まで生きるとしてそれを秒であらわすと何秒だろう。灰色の姿をした男はすぐに計算し、22億752万秒と伝える。「これがあなたの全財産だ」という。この財産を私たちは文字通り刻々と使い果たしていくのである。人生の残り時間が計算され、それがシリアスに感じられる。灰色の男が勧めるように時間銀行に預けて、利子をいくらかでももらいたくなるのが人情であろう。しかしそれこそ思うつぼ。時間銀行と契約するやいなや、人は変わったように時間のむだをなくそうとやっきになる。生活のすべては金と数値に換算される。時間が貯金されて豊かになるはずなのに、すべてがプラン通りに行われることが至上命題となり、人々はぎすぎすし出す。死んだ時間が後に残っているのみである。時間どろぼうたちのもくろみは当たった。人々は将来に役に立つことのために、今を節約する。暇がなくなる。誰もが自分のことで一生懸命で、他人のことなどかえりみなくなる。

『モモ』の原作の出版も、何と45年前。しかし、エンデが描く時間どろぼうに支配された街の様子はとてもリアルで、予言的ですらある。街にはスピードレストランがはやり、子どもには遠隔操作のおもちゃが与えられる。現代日本の状況に驚くほどよくあてはまる。

死んだ時間をよみがえらせるにはどうすればよいのか。手掛かりは今という時にあろう。モモは、相手に安心を与える聞き手らしい。過去にも未来にもとらわれず、今のあなたに向かう。「一人一人が自分の時間をもっている。自分のものである間だけ、それは生きた時間となる」。物語の終末に出てくるマイスター・ホラ（時間のマスター）の言葉だ。生きた時間の回復をめざすこと。もちろん、私たちの仕事に深くかかわることである。

平成30年度の事務局

事務局の体制が次の通り変わります。

理事長：

黒木俊秀

顧問：

田嶋誠一

野島一彦

専務理事：

金子周平

心理臨床部長：

阪木淳子

事務局長：

梅野 彰

事務局員：

諫山千絵

金子光代

栗田彩加

齊藤友佳子

準事務局員：

堀江和正

(五十音順)

どうぞよろしく
お願いいたします。



平成30年度事業計画

当法人は「臨床心理サービス事業」「協働事業」「研究事業」「研修事業」の4つの枠組みで事業を展開しています。平成28年度の各事業計画をお知らせします。



臨床心理サービス事業

カウンセリングルーム「こだち」では臨床心理士の資格をもつ相談員が心理面接を担当しています。

家庭学習支援事業では、不登校や発達障がいを抱える児童生徒を主な対象として、主に臨床心理学を専攻している大学生・大学院生の学習支援員の派遣を行っています。家庭学習支援事業では「①家庭学習支援員の派遣」「②保護者相談」「③家庭学習支援員の資質向上（研修）」の3つを1セットとして行っています。

思春期居場所支援事業（ここりーと）では、不登校児童生徒やひきこもりの青少年を対象に、金曜日の13時～16時にこだちのプレイルームを使ってフリースペース活動を行っています。スタッフ数名とゲームや折り紙、おしゃべりをしたり、ゆったりとした時間を過ごしています。また活動前後にミーティングを行い関わり方などの話し合いをします。



協働事業

地域のニーズに応じて、カウンセラー・講師派遣事業を継続的に実施してきました。講師派遣に関しては好評のものも多く引き続き依頼が届いている機関も多くあります。

今年度も引き続き、大学生、社会人等を対象としたキャリア支援講義、ストレスケア講義の講師派遣を行っています。また、緊急の危機介入についても取り扱う機会がありました。



研修事業

平成29年度は、下記の研修会を企画しています。参加申込はこだちからのチラシやホームページにも掲載しておりますので、ご参照ください。

〇ころ研ABC～基礎から学ぶロールシャッハ～

ロールシャッハを普段使う機会がない、しばらく使っていないという方に向けた研修会です。昨年度も予定数を上回る多数のご参加をいただき、大変好評でした。

〇こだちロールシャッハ研修会

本年度で10回目となるロールシャッハ研修会です。スコアだけに終始しない、クライアントの内界を理解し味わっていくための一味違ったロールシャッハ研修会です。9月30日,12月16日,1月13日に開催予定です。

〇こだち教育領域研修会

臨床心理士およびスクールカウンセラーを対象とする研修会です。6月24日(日)に開催します。

〇体験的心理療法ワークショップ

7月21日(土)に開催します。ご自身のことを様々なワークを用いて取り扱う体験を通して、体験的心理療法とは何かを学びます。

〇WISC・WAIS研修会

昨年初めて行い大好評でした。WISC・WAISについて実践的に学びます。

〇セラピスト・フォーカシングワークショップ

臨床面接の場におけるセラピストの体験をフォーカシングを用いて味わう研修会です。

〇事例で学ぶテストバッテリー

今年度は8月5日(日)・1月27日(日)に開催予定です。知能検査とロールシャッハ法を中心とした投映法でテストバッテリーを組んだ事例から、テストの読み解き方、活用の仕方についてじっくり学んでいきます。

〇こだち精神医学講座

精神医学に関する研修会を開催します。ワークショップ形式で開催予定です。

平成29年度事業報告

「臨床心理サービス事業」「協働事業」「研修事業」の各事業ごとに平成28年度の事業報告を行います。

◇臨床心理サービス事業

こだちでは臨床心理士の資格をもった相談員の心理面接事業が大きな柱となっています。平成29年度は89件のインテーク面接を実施しました。また、平成29年度の総面接回数は1482回でした。インテーク面接は前年度と比較してやや減少していますが、継続した面接は安定して行われております。

相談内容は、子どもや保護者の方の相談（不登校、発達の相談、親子関係、友人関係等）や成人の相談（家族関係、対人面での悩み、会社の人間関係、うつ等）と、多岐に渡る相談内容があり、医療機関と連携しながら面接を実施しているものも多くあります。面接の中で必要に応じて検査の実施等も行っています。また、福岡市内や県内はもとより、県外からも来談いただいております。

家庭学習支援事業にも例年通り多くの申し込みをいただき、派遣回数は381回となりました。

平成29年度で9年目となったこだちゼミナールは、一般市民向けに実施しています。平成29年度も好評のうちに終了しました。

思春期居場所支援事業（ここりーと）も九大の大学院生がスタッフとなり、安定した活動を行っています。

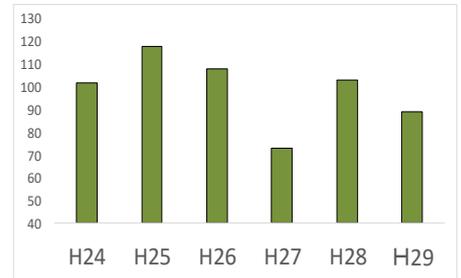


図1. インテーク面接件数の推移

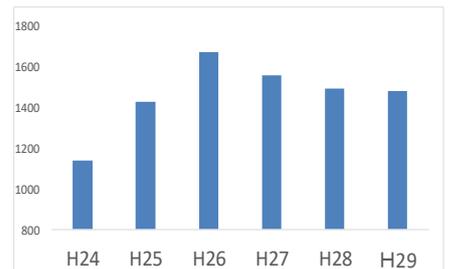


図2. 総面接回数の推移

◇協働事業

一般企業や行政・教育機関、病院等へ講師派遣を行い、平成29年度は多様なニーズにお応えし、様々な研修会を行いました。毎回好評をいただいております。また、人間関係を苦手とする専門学生へのグループワークを行いました。

臨床心理学の知見を活用した地域社会への貢献を設立理念としてあげていますが、会員のみならず、皆さまのご協力から、地域の多くの企業、病院、学校とのつながりが広がってきています。



◇研修事業

平成29年度は「こだちロールシャッハ研修会」を継続型の研修会として実施しました。また「回想ドラマ法入門」「体験的心理療法ワークショップ」「WISC・WAIS研修会」の3つの研修会を初めて企画・実施し、多くの方にご参加頂きました。

今後とも様々な研修会を企画・実施していきたいと考えています。研修会に関するご感想やご意見をぜひお寄せください。

◇特別企画

第11回定時総会特別企画として、青木省三先生（川崎医科大学精神科学教室教授）をお迎えして特別講演会を開催しました。

講座のお知らせ

—市民向け心理学講座— 「九大こだちゼミナール 2018」

九州大学の心理学を専門とする教授陣が、それぞれの専門分野から生活のための講義や実習を行います。日程は以下の通りです。研修会の詳細をお知りになりたい方は、当法人にお問い合わせください。

<前編>			<後編>				
第1回	7/22 (日)	14:00~16:00	小澤永治 先生	第5回	10/21 (日)	14:00~16:00	金子周平 先生
第2回	8/18 (土)	14:00~16:00	松下智子 先生	第6回	12/9 (日)	14:00~16:00	古賀 聡 先生
第3回	9/22 (土)	14:00~16:00	大場信恵 先生	第7回	1/12 (土)	14:00~16:00	遠矢浩一 先生
第4回	10/6 (土)	14:00~16:00	池田 浩 先生	第8回	2/16 (土)	14:00~16:00	黒木俊秀 先生

掲示板

こだちよりお知らせ

～不登校児童生徒の親の会「ここあんの会」～

学校への行き渋りや不登校に際して、子どもも親も悩み、どうしたらよいかわからないことがあります。市民向け心理学講座「九大こだちゼミナール」で親の会開催の希望があり、平成30年度より不登校児童生徒親の会「ここあんの会」を毎月1回開催しています。

「ここあん」とは「こころ」・「安心」を大切にしたいと思い作った名前です。前半は臨床心理士によるミニ講話を行い、後半は保護者同士が話し合い情報交換を行っています。

また、児童生徒うあ思春期居場所活動「ここりーと」に参加しやすいように、ここりーとと親の会を一部並行して行っています。

ぜひ関係者の皆様に広報いただき、ご活用いただけると幸いです。なお、本事業損保ジャパン日本興亜損保福祉財団、NPO基盤強化資金助成に採択され、支援いただいています。

対象：小学校1年生～高校3年生の不登校・学校にいきづらいう児童生徒の保護者

日時：2018年5月～2019年3月の

原則第3金曜日13:30-15:00

場所：九州大学こころとそだちの相談室

利用料金：1回500円

（子どもが「ここりーと」に参加している場合は無料）

※講話テーマの詳細はホームページをご覧ください。

○入会のご案内

こだちは今年で12年目を迎えます。地域に定着した心理臨床サービスを継続するには、収支の安定が求められます。NPO法人の会員となって私たちの活動を支えていただけると幸いです。会員になっていただける方はぜひこだちまでご連絡ください。なお、会費は1年毎の更新制です。よろしくお願いいたします。

会員（ひと口5,000円）：臨床心理士・公認心理師（予定）
・医師その他対人援助に関わる方（定款参照）

学生会員（ひと口1,000円）：学部生・大学院修士課程

賛助会員（個人：5,000円・団体：ひと口10,000円）

○ご支援のお願い

当NPO法人では会員以外の方からも、ご寄付をおまちしております。関心や興味をもたれた方はぜひご連絡ください。

交通のご案内



■ ■ 地下鉄でお越しの方 ■ ■

福岡市営地下鉄空港線西新駅下車後
7番出口より徒歩にて約10分

特定非営利活動法人 九州大学こころとそだちの相談室

〒814-0002

福岡市早良区西新2-16-23 九州大学西新プラザ内 産学交流棟

TEL 092-832-1345 FAX 092-832-1346

HP <http://kodachi.or.jp/>

